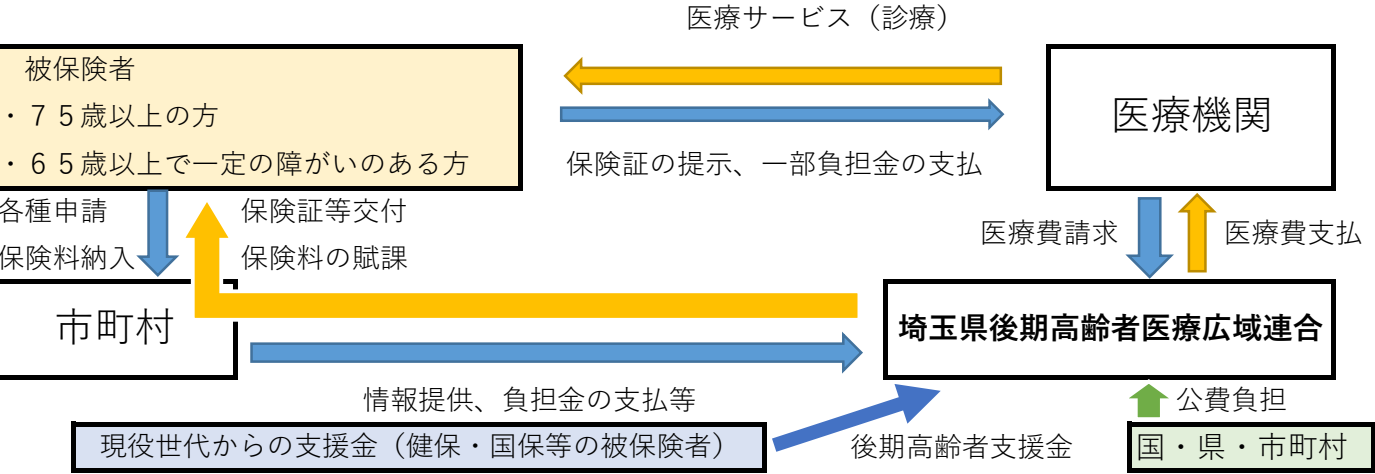


1 事業概要

後期高齢者医療制度は、急速な高齢化による医療費等の増大が見込まれる中で、現役世代と高齢者世代の負担を明確にすることにより、国民皆保険制度を将来にわたり持続可能なものとしていくための制度です。



※後期高齢者医療給付費に係る財源内訳

国・県・市町村の公費（約5割）	現役世代からの支援金（健保・国保等の被保険者）（約4割）	保険料（約1割）
-----------------	------------------------------	----------

※ 保険料率等の推移（小鹿野町は、平成20～25年度まで不均一賦課が適用されていました。）

	平成24・25年度	平成26・27年度	平成28・29年度	平成30・元年度	令和2・3年度	令和4・5年度	令和6・7年度
均等割額	41,860円	42,440円	42,070円	41,700円	41,700円	44,170円	45,930円
所得割率	8.25%	8.29%	8.34%	7.86%	7.96%	8.38%	9.03%
1人当り保険料	75,245円	74,149円	74,151円	73,661円	75,115円	79,756円	85,888円

2 被保険者数・1人当たり医療費の推移

※被保険者数は、年度末現在の人数

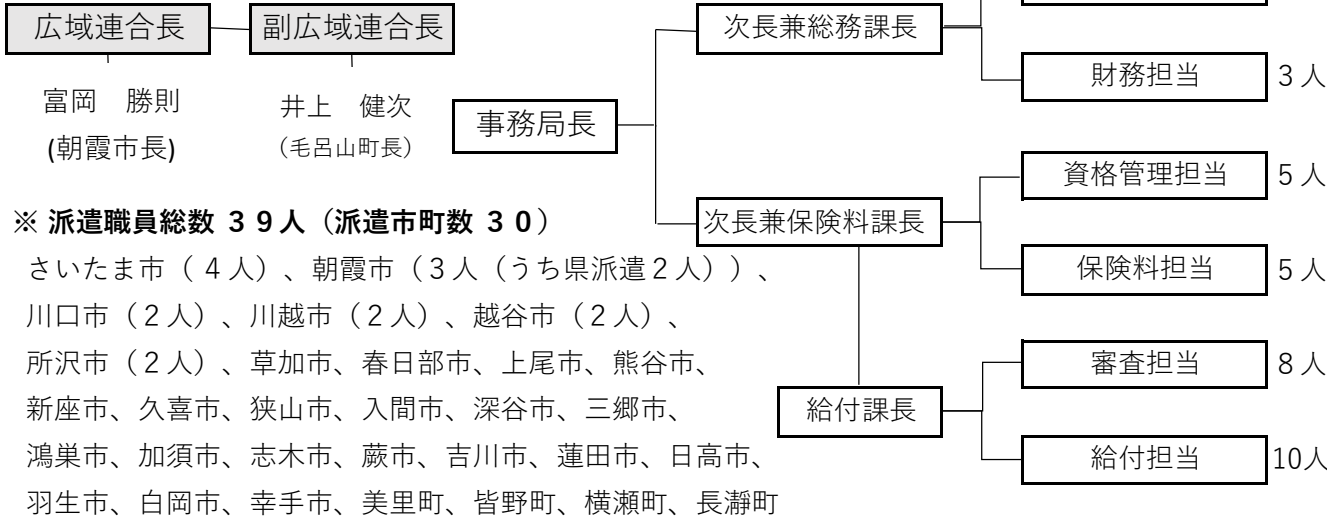
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
被保険者数	859,418人	908,391人	941,729人	955,607人	992,041人	1,044,953人	1,089,019人
1人当たり医療費	853,114円	844,747円	858,183円	818,970円	840,668円	848,959円	

3 決算額等の推移（一般会計・特別会計）

（単位:円）

一般会計		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度（当初予算）	令和6年度（当初予算）
歳入		1,662,415,761	1,730,499,618	1,644,713,928	2,720,000,000	2,458,000,000
歳出		1,627,908,719	1,694,000,441	1,604,339,134	2,720,000,000	2,458,000,000
収支差		34,507,042	36,499,177	40,374,794	0	0
特別会計		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度（当初予算）	令和6年度（当初予算）
歳入		778,014,247,674	824,275,200,205	847,072,070,241	864,222,000,000	927,777,000,000
歳出	保険給付費	718,110,686,904	752,745,358,892	794,803,966,106	852,018,976,000	914,895,900,000
	保険給付費以外	19,866,593,749	40,830,567,395	33,549,477,856	12,203,024,000	12,881,100,000
	合計	737,977,280,653	793,575,926,287	828,353,443,962	864,222,000,000	927,777,000,000
収支差		40,036,967,021	30,699,273,918	18,718,626,279	0	0

4 事務局組織図及び派遣職員配置数



5 令和6年度に実施する主な取組み

（1）被保険者証廃止に関する対応

令和6年12月2日付けで被保険者証が廃止されることに伴い、市町村と連携し、被保険者や医療機関への制度改正の周知や資格確認書の交付に伴うシステム改修等の準備を着実に進めていきます。また、被保険者が安心してマイナ保険証を利用できるよう、加入者情報の正確な登録に努めるとともに、マイナ保険証のメリットを周知し、利用率の向上を図っていきます。

（2）保険料の収納対策

広域連合と市町村は、「収納対策実施方針」に基づき、毎年度「収納対策実施計画」を作成することにより収納対策を計画的に実施し、収納率の向上に努めます。

（3）高齢者保健事業の推進

被保険者の健康の保持増進を支援し、被保険者ができる限り長く健康で自立した生活を送ることができるよう、第3期高齢者保健事業実施計画（データヘルス計画）に基づき保健事業を実施します。また、「高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施」を全市町村が円滑に実施できるよう、引き続き市町村と連携を行います。

（4）後期高齢者医療広域連合電算処理システム改修への対応

令和7年度から本稼働するクラウド化、言語システム変更、機能・性能変更された新たな標準システムを円滑に運用できるよう、必要なシステム改修、データ移行や機器の調達の準備を進めます。

6 令和6年度事業スケジュール

月	内 容	月	内 容
5月	・後期高齢者医療新任職員研修	10月	・後期高齢者医療主管課長会議
	・後期高齢者医療主管課長会議		・定例会（令和6年第2回）
7月	・保険料通知書発送	12月	・被保険者証廃止
	・被保険者証発送		・定期監査
	・後期高齢者医療懇話会（第1回）	1月	・後期高齢者医療主管課長会議
9月	・決算審査		・定例会（令和7年第1回）
	・後期高齢者医療懇話会（第2回）	2月	